

人材育成の現場から



とくしま林業アカデミー

とくしましみなみしょうまち
徳島県徳島市南庄町

修学期間：1年間 定員：20名

とくしま林業アカデミーは、平成28年4月に開講し、林業に関する知識と技術の習得、そして資格を取得し、即戦力として林業現場で働くことができる人材を養成する研修機関として、これまでの4年間で52名の卒業生全員を県内の林業事業体に送り出しています。

研修の進め方としては、4月から6月は座学と演習で基礎を学び、7月から10月にかけて現場実習で技術力を養い、11月から3月のインターンシップにおいて技術の向上と仕事としての林業を実践し、4月からの就業につなげています。

特にインターンシップは、就業をスムーズに行うために重要な研修カリキュラムと位置づけ、例年約15週間以上を充てています。研修時間や内容については、派遣先の指示に従い、現場作業員の一人として造林から素材生産までの様々な作業に従事し、仕事の連携、高度な技術力、やり遂げた達成感など、インターンシップでないと体感できない良い経験が積み上がっています。

また、通常の研修と大きく違うところは就業開始時間が早く、林業現場の勤務時間に事前に慣れることができる点です。多くの林業現場では集合時間が7時頃なので、朝が早く、就業時に戸惑うところですが、研修生はインターンシップでの経験を活かして、躊躇することなく対応できます。

インターンシップは就職先を決定づけるファクターでもあり、就職先を選択する際、求人票で就労条件を確認しますが、実際にその職場の雰囲気や体感できることは研修生にとっても重要な場となっています。一方で、雇用する事業体側にとっても、その人の適性を見る貴重な場となっています。

とくしま林業アカデミーにおいて、一年間の研修で林業の全てを習得させることは難しいですが、インターンシップを通じて、林業事業体に円滑に就業ができるように適切な指導、支援を行っています。

【インターンシップの様子】



初めての太径木伐採



フォワーダに積込み



任された造材作業



積込みしやすい場所にフォワーダ移動

人材育成の現場から



ふくい林業カレッジ

さかいしまるおかちょうらくま
福井県坂井市丸岡町楽間

修学期間：1年間 定員：長期コース（1年間）8名、短期コース（3ヵ月間）4名

ふくい林業カレッジは平成28年に開校し、林業に関する基礎知識や林業の就業に必要な資格の取得、現場実習などの研修を行い、林業事業体等で活躍できる人材を育成しています。1年間の長期コースが基本ですが、令和2年度から研修生や林業事業体からの要望に応え、資格取得を中心とした短期コースを新設しました。

長期コースは、全部で17科目、約1,300時間のカリキュラムからなり、その内訳は、座学が約200時間、現場実習が約350時間、林業事業体でのインターンシップが約550時間、資格取得が約200時間となっています。当カレッジでは現場で活躍する人材の育成を目的としていることから、現場技術の習得に重点を置き、インターンシップの時間が多いことが特色となっています。

インターンシップは、座学や現地実習、資格取得などの基礎的な研修を終えた後に実施します。1事業体当たり3週間のOJTを1回として、それぞれの研修生が異なる事業体で計5回のOJTを経験することとしています。複数の事業体でのインターンシップを通じて、研修生が自身の適性や興味を確認できるとともに、事業体ごとの職場の雰囲気や業務のやり方の違いを知ることができ、就業してからのミスマッチを減らすことができます。また、基礎的な研修で習得した技術を実際の業務で実践することにより、適応力や応用力を養うことにも繋がります。

研修生からは、「実際の業務体験を通じて、現在の自分の技術力を把握することができて良かった」、「複数の林業事業体を経験することで、林業全体の雰囲気を知ることができて良かった」との好評価が得られており、インターンシップ研修が効果的であると考えております。

今後も、受け入れ側の林業事業体と協力し、研修生が現場に近い技術力を身に付けられるような研修を行っていきたいと思います。

【インターンシップの様子】



伐倒作業



枝払い作業



搬出作業